

「この本、よかった！」(136)
『いつもいっしょに』
作：こんの ひとみ
絵：いもと ようこ
(金の星社)

みなさんにも
おすすめしたい「くまどく本」、
今回は、淳教幼稚園からです。

山根 碧斗(そら組)

くまがうさぎをおこったときは悲しい気持ちになりました。でも、最後にくまがうさぎをギュッとするとこころはうれしかったです。くまとうさぎがいっしょにくらせてうれしいです。



(教育総務課
社会教育グループ)

山根 紗那(母)

独りぼっちなくまがうさぎと一緒にくらすことで、自分の本当に気持ちに気づいていく、というお話です。そばで私たちを見つめ、支えてくれる人がいることを教えてくれる一冊です。

社会見学に行きました

熊野第二小学校

暑さもやわらいできた10月、1～4年生は社会見学に行ってきました。

10月17日(木)は、3・4年生の社会見学でした。江波山気象館で気圧の変化を確かめる実験をしたり、広島市環境局中工場で全長約5mのクレーンが市内から集められた可燃ごみを処理しているところを見たりたくさんのお話を学んだ1日でした。また、エディオンピースウイング広島では、最前列に座って記念写真を撮ることもできました。

10月25日(金)の1・2年生の社会見学では、広島市森林公園に行きました。昆虫館では、たくさんの蝶が舞う姿に感動したり、少し怖がったりしていました。その後、芝生広場で“秋見つけ”をしました。今年は暑い日が続いたため、紅葉はまだ進んでいませんでしたが、緑色のどんぐりやもみじの葉っぱを見て、これからの色の変化を楽しみにしていました。

今後、5・6年生も社会見学に行く予定です。



▲スタジアム前の広場で昼食

(教育総務課)

運動会

熊野第四小学校

10月12日(土)に運動会を開催しました。今年のスローガン「燃えろ輝け努力と絆で勝利をつかみとれ！」のもと、6年生を中心に赤組も白組も白熱した運動会になりました。

特に各学年の表現競技では、どの表現も工夫されていました。1・2年生は音楽に合わせてかわいいダンスと隊形移動で会場中を盛り上げました。

3・4年生は伝統の『熊野音頭』を地域の人や保護者と一緒に踊り、熊野町を大切にすることを表現しました。また、彼岸船保存会に組み立てを手伝っていただいた『彼岸船』も会場を彩りました。

5・6年生は力強さとしなやかさで一体感のある組体操を披露しました。会場中が息をのんだ大技は大成功で、拍手喝采の組体操でした。

この運動会を通して、一人ひとりが振り返りを大切に、チャレンジを続けていきました。大成功の運動会になりました。

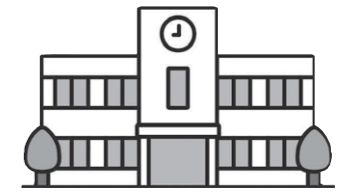


▲3・4年生による『熊野音頭』の披露

(教育総務課)

熊野町立小中学校 冬季一斉閉庁を実施します

国や県の動向を踏まえ、令和6年度の冬季休業期間中に「熊野町立小中学校一斉閉庁」を実施します。この期間中は、原則学校は閉庁しますので、ご理解とご協力をお願いします。



時12月28日(土)～令和7年1月5日(日)

【目的】

- 児童生徒および教職員の心身の健康増進
- 町立学校における地球環境保護および省エネルギーの推進

【内容】

- 原則として、児童生徒は登校せず、部活動も実施しません。
- 緊急連絡体制を確保し、緊急に対応する必要がある事案には早急に対応します。(教育総務課)

2年生修学旅行～東京研修～

熊野高等学校

この地に (343)



10月9日(水)～11日(金)の2泊3日、2年生が東京へ修学旅行に行きました。この修学旅行では、東京の文化や歴史を学ぶことで見聞を広めること、集団生活におけるきまりを守り社会性を養うことを目的とした研修を行いました。

1日目は、劇団四季の『アナと雪の女王』を鑑賞し、夜は東京湾で豪華客船・シンフォニークラシカ号に乗り、テーブルマナー付コース料理が味わえるクルーズディナーを体験しました。2日目は、東京ディズニーランドを丸1日堪能し、3日目は、上野恩賜公園で美術館・博物館・動物園の3つのコースに分かれて希望者別研修を行いました。

高校生活最大の行事である修学旅行において、日常から抜け出して今まで見たことのないヒト・モノ・コトに全身で触れ、広げた視野で、新しい視点を獲得してくれたことでしょう。



▲国立西洋美術館で「モネ展」を鑑賞

熊野高等学校 ☎854-4155

人権とわたし

**「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」
受賞作品を紹介！(Part.3)**

性別に関する固定概念(ジェンダーバイアス)の解消に向けた県主催の取り組みとして、エソール広島と連携して昨年度開催された「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」の受賞作品を紹介します。

色眼鏡
押し付けられて
押し付けられた

作者のコメント

過去に社会や周囲から刷り込まれていたジェンダーバイアスを、年齢を重ねて、今度は自分が押し付けていることに気づきました。

偏見にとらわれていたのは私です。

(70代・女性)



◀エソール広島ホームページ

出典：もやもや解消読本

(広島県環境県民局わたしらし生き方応援課発行)
(生活環境課)